

智仁会だより

医療法人 智仁会
平成 28 年 4 月号

VOL.42

私たちは地域の専門病院として誇りと責任を持って、最良の医療提供に努めます。

「ゆめっこ保育園」が誕生しました！



Saga Rehabilitation Hospital

<http://www.sagareha.or.jp/main/>



通所リハ・訪問看護・その他

在宅サービス



認知症でのびのびと

グループホーム吉原



サービス付き高齢者向け住宅

ドリームハウス吉原

CONTENTS

- ゆめっこ保育園オープン
- 知っておきたい病気の話～インフルエンザ～
- リハビリ部通信
- 桜マラソン、夢館クリスマス会
- 看護部通信



平成28年4月 ゆめ

保護者の方には安心して子育て出来る環境を
のびのびと暮せる場を用意しました。

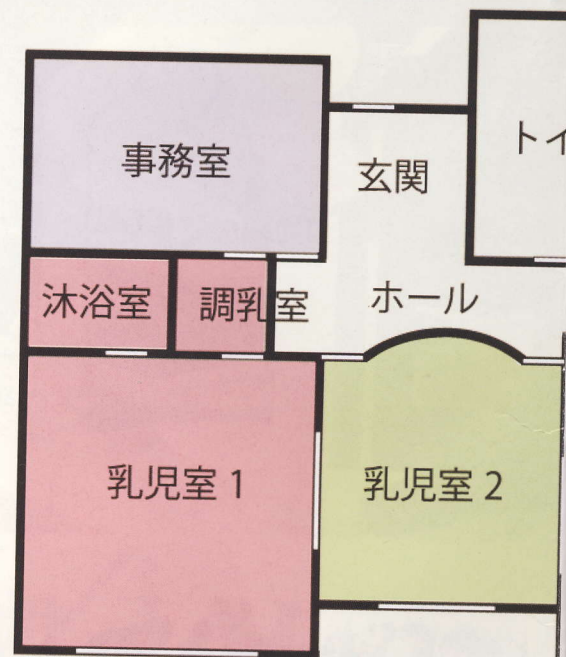


調理室

園内に調理設備があり、毎日おいしい食事を提供いたします。



1人ひとりの個性と
可能性を大切にきめ細
やかな保育を行います



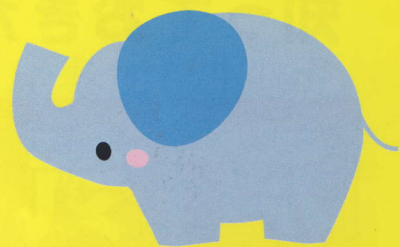
園内は常に光が降り注ぐ、
明るい環境

園内の窓には、至る所に楽しいイラスト



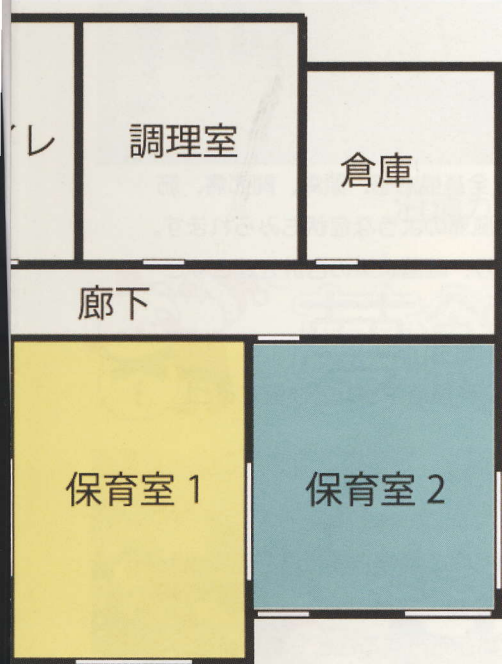
ゆめっこ保育園開園！

子どもたちには、我が家のように



園児用トイレ

トイレも可愛い作りとなっております。
また、お子さまが自分で手洗いが出来るように
園児用の手洗い場を設けております

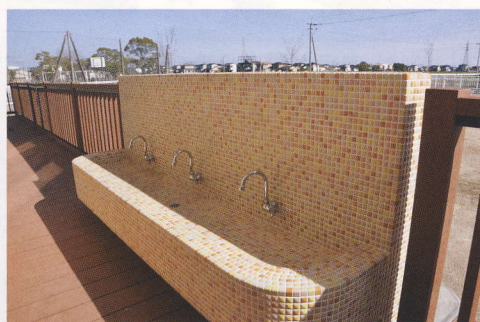


アットホームな雰囲気
の中で豊かな感性
と好奇心がはぐくま
れます。



開放感あふれる室内

お子さまが優しく、温かみのある落ち着いた空
間ですくすくと成長できるように願っておりま
す。



ゆめっこ保育園

医療法人智仁会 ゆめっこ保育園

〒840-0013 佐賀市北川副町大字新郷 647-1

TEL 0952-20-2001

知っておきたい

病 気 の 話



回復期病棟専従医

富安 夏子

日本内科学会総合内科専門医

日本リハビリテーション医学会認定臨床医

佐賀医科大学卒

第3話 インフルエンザ



インフルエンザとはどんな病気でしょうか？

寒い冬の季節はインフルエンザが流行する時期ですね。

流行前にインフルエンザワクチンを接種しておく、発症を抑えたり、重症化を防ぐ効果がありますが、接種していてもインフルエンザにかかってしまうことがあります。インフルエンザ流行の時期には、人混みの中へ出るのはできるだけ控え、外出の後は、手洗い・うがいの習慣をつけましょう。また、体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取など、日頃から予防を心がけることが大切です。

それでも残念ながらインフルエンザにかかってしまったかなと思ったら・・・

インフルエンザウイルスに感染すると、1日～数日の潜伏期間ののち、38℃以上の発熱、全身倦怠感、頭痛、関節痛、筋肉痛等の全身症状を伴って急激に発症するのが典型的です。鼻汁、咳、咽頭痛などの普通の風邪のような症状もみられます。健康な方は、数日～1週間程度で自然に治癒することが多いですが、経過中に重症化したり、細菌感染の合併を起こすこともあります。特に高齢者や小さいお子さんなどでは、重症化しやすいといわれています。

インフルエンザの診断には、簡易検査キットがあり、綿棒で鼻腔内をぬぐった液などを、簡易検査キットで検査すると、15分ほどで結果が現れます。

陽性であれば、抗インフルエンザウイルス薬を処方します。

陰性の場合でも、100% インフルエンザではないというわけではありません。特に発症から12時間以内では検査キットで陰性と判定されることもあります。

流行の状況や、症状からインフルエンザが疑わしい場合には、抗インフルエンザウイルス薬を処方することもあります。

抗インフルエンザウイルス薬には、内服薬や吸入薬、点滴などいろいろな種類があり、最近では1回の吸入で効果のある薬もあります。

抗インフルエンザウイルス薬は、発症から48時間以内に開始したほうがよく効くといわれています。

インフルエンザかな？と思ったら、早めに受診しましょう。

また一旦解熱後に、再び高熱が出た場合は、細菌感染の合併や肺炎などの可能性もあるため、早めに再受診しましょう。



インフルエンザの予防には！



マスク



手洗い



うがい

さが桜マラソン SAGA SAKURA MARATHON 2016

さが桜マラソン 2016 に参加しました



沿道からの多くのご声援ありがとうございました



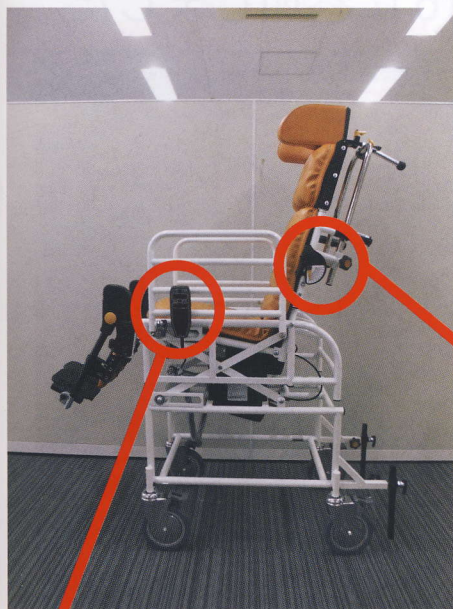
夢館クリスマス会



12月17日(木)、通所リハビリテーション吉原にて「夢館クリスマス会」を開催いたしました。ミランバくん体操、愛の泉の園児さん達による降誕劇、みんなで歌おうコーナー、佐賀女子高のハンドベルの演奏、職員出し物、お食事・デザートタイム、お楽しみ抽選会などを通して御利用者様や御家族様と一緒に職員一同楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年も頑張りたいと思います。

フルオーダーのVFチェアー (嚥下造影検査椅子)

「食べる」ことは 「生きる」こと



- ・電動昇降
- ・リクライニング機能



- ・角度計
個人それぞれに合った、安全に食べることができる角度の測定ができます。

「口から食べる」ということは、必要なカロリー摂取をすることはもちろんですが、視覚・味覚・嗅覚などの五感を刺激する、また、噛むことは脳の活性化や、唾液の分泌を促すなど、全身に良い影響を与えます。さらに、好きな相手と一緒に食べることは、生きる意欲に繋がると考えます。つまり、「食べる」ことは、生命維持のためばかりでなく人生の喜びや楽しみであると思います。当院では、摂食嚥下障害（食べることが難しい）を呈した患者様に嚥下機能の評価として嚥下造影検査を行っています。一般的に、安全に食べられるのは「寝ている状態から30°背面をあげ、顎を引いた姿勢」とわれています。当院では患者様に、安全に且つ継続して食事をとってほしい、食べていただきたいという想いの下、より確実な評価が行えるよう、今回、フルオーダーのVFチェアー（嚥下造影検査椅子）を製作しました。食べることでお困りの方は当院医師、看護師、または言語聴覚士までご相談下さい。



血圧測定コーナー



講演

介護教室 2015 開催しました！



栄養指導コーナー



家屋改修コーナー



自助具コーナー



福祉用具展示

平成27年12月5日に介護教室が開催されました。今回のテーマは「在宅生活を快適に過ごすために」。福祉用具プランナーによる講演や理学療法士による乗移りのデモンストレーション等がありました。現在、多種多様な福祉用具があり、迷われる方が多いと思います。「その人らしい暮らし」を実現するために、色んなコーナーを設け、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、医療相談員などに相談して頂きました。

私達職員は、より良い医療の提供をするため日々、自己研鑽や体力作りを心掛けています!!

自己研鑽に努めています(o)/

2015年11月20日・21日埼玉県川越市ウェスタ川越にて開催されました、NPO 法人日本リハビリテーション看護学会「第27回学術大会」Re-habilis-原点からの看護の創造一に参加しました。
今回は、「身体抑制に関する意識調査と今後の課題」「排泄パターンを活かした夜間のオムツ交換による睡眠時間の確保」を研究し発表を行いました。研究内容に対するディスカッションもでき、有意義な発表になり、満足しています。これからは病棟業務において同問題を継続し、援助していきたいと思います。



体力作りの結果です(〇〇)

2015年11月8日に行われた、諸井会計杯ミニバレーボール大会（企業対抗）に参加しました。
時間がない中、日々練習を重ね、各チームとも一生懸命戦いました。
結果は…

優勝！ 準優勝！

昨年に続き二連覇達成しました。

参加された職員の皆様おつかれさまでした。

